

ほほえみだより

令和6年2月号

松伏町学校給食センター TEL992-2161 FAX992-3192 (263号)



節分は、もともと立春・立夏・立秋・立冬の前日のことをさし、「季節を分ける」節目となる日です。現在では、特に立春の前日のことをさし、豆まきをして鬼(邪気)をはらう行事などが行われます。

節分にまつわる食べ物

大豆

いり大豆を「鬼は外、福は内」と唱えながらまき、自分の年の数(または年の数+1粒)だけ食べて、1年の健康や無事を祈ります。



イワシ

ヒイラギの枝に、焼いたイワシの頭を刺した「ヤイカガシ」を家の玄関などにつるし、鬼を追い払います。焼いたイワシを食べる地域もあります。



恵方巻き

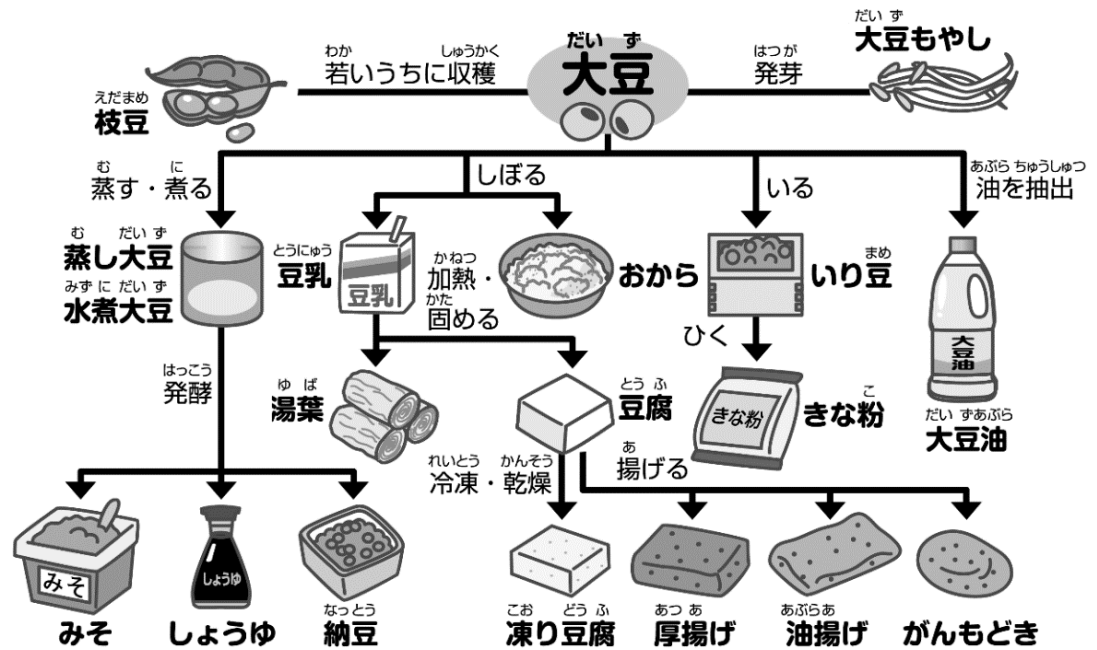
巻き寿司を切らずに、その年の恵方(歳神様のいる縁起の良い方角)を向いて、無言のままかじって食べます。切らないのは「縁を切らないため」とされます。もともとは関西の一部地域の風習でしたが、全国に広まりました。



節分に欠かせない大豆について



大豆は、弥生時代から栽培されていた作物で、さまざまな食品や調味料に利用され、私たちの食生活に欠かせない食べ物です。植物ですが、体をつくるものになるたんぱく質を豊富に含み、「畑の肉」とも呼ばれます。



2024年は「東北東」を向いて食べよう!

